

平成26年度 函館市地域包括支援センター事業評価

函館市地域包括支援センター西堀

1. センターの概要(平成26年4月1日現在)

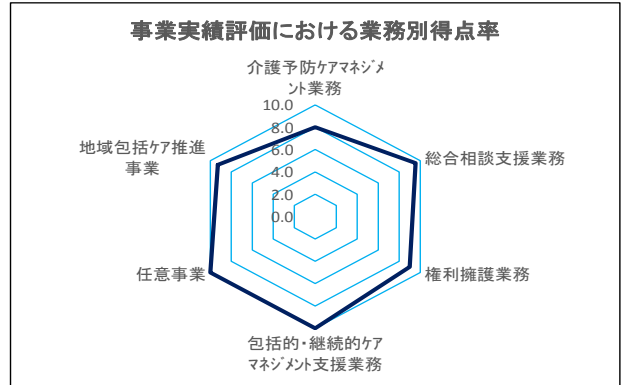
センター所在地	函館市中道2丁目6番11号 西堀病院内			担当圏域	北東部
圏域の人口	97,580人	圏域の高齢者人口	26,515人	圏域の高齢化率	27.2%
職員数	保健師 5人, 社会福祉士 5人, 主任介護支援専門員 5人, その他 5人(配置基準職員 15人)				

2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価	市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 職員の意見を共有する場を設けるなど、働きやすい職場の環境づくりを目指してきたことから、職員から積極的に提案がされるようになり、新たな活動に発展した。このような取り組みは職員のモチベーション向上につながると考えている。 管理責任者による職員面談や指導、全体の業務カンファレンス等を活用し、職員個々のスキルアップからセンター全体のスキルアップを図っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理責任者が各職員と積極的に関わりを持ち意見を引き出していること、さらに法人内でも人事考課制度を実施しており、職員の質の確保が図られていると評価する。 事業計画と実施評価については、センター内で共有されており、組織的に課題解決に取り組んでいる。 ネットワーク構築については、各職員での認識にばらつきがある様子。ケース支援を通しての担当者同士の個別のつながりが、組織同士のネットワーク構築へ発展していくため、個別のつながりを大切に活動してほしい。

3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり教室については、保健師・看護師以外の職員も教室へ従事するようにし、教室の内容は共通理解できており、他の職員も積極的に参加勧奨をしている。 民生委員や介護支援専門員からの相談ケースが増えたことから、総合相談の件数が増えてきた。主任介護支援専門員チームによる包括的継続的ケアマネジメント支援業務を強化できた効果であると考えます。 毎日センター内での事例報告は実施しているが、センター内の事例検討会は実施していない。スキルアップのため、今後はセンター内事例検討会の実施に向けて検討を進めたい。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 介護予防ケアマネジメントについては、二次予防事業対象者へ訪問による利用勧奨を行っており、事業利用の推進が図られていると評価する。 実態把握では積極的に対象者の掘り起こしをしており、他センターと比較しても把握件数が多い。今後は一定の件数を確保しながら、支援の質の維持・向上への取り組みも検討願いたい。 高齢者虐待の視点の形成は、事例検討を重ねていくことが大切であるため、センター内でもよいので実施をお願いしたい。

4. 運営体制評価

- 適正に職員を配置している。
- 職員が働きやすい環境を整えるなど、適正に業務管理が行われている。
- 外部研修や学術大会への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 平成26年12月からは携帯電話への転送による、夜間・休日等の迅速な連絡・対応体制を整備している。
- 苦情への対応については、マニュアルを作成し適切に対応している。
- 同一法人へのサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い事業運営を行っている。

5. 総評

地域包括支援センターの運営法人として、期待以上の業務を実施していると評価する。
 配置基準職員が一番多いセンターであるため、業務量の増加に対応した支援の質の確保に難しさがあると思われるが、今後はより一層センター内での研修に取り組んでいただき、特に高齢者虐待対応に関しては、積極的に事例検討会等でスキルアップに取り組んでいただきたい。